

2015(平成27)年度 第31期事業報告書

自 2015(平成27)年4月1日
至 2016(平成28)年3月31日

公益財団法人 日中医学協会

はじめに

公益財団法人日中医学協会は財団設立 30 周年を迎え、2015 年 10 月 30 日に学士会館（東京）において、内外のご来賓及び会員等多数のご参列の下、盛大に記念行事を滞りなく行うことができました。ご支援いただいた各位に改めて深謝申し上げます。

日中間の交流は、ここ数年の停滞期を経て著しい改善の兆しが見えて参りました。医学医療分野は、環境や食の安全とともに、両国民の最大関心分野であります。日中医学協会は、各方面からのご支援により、その生い立ちに始まり、日中間の医学学術交流の日本側窓口として 30 数年来その任務を遂行して参りました。しかしながら、中国の経済はもとより科学技術等各方面に及ぶ目覚ましい発展により、時代は新たな協力関係を求めており、単なる友好交流でなく、協会が今後どのように事業展開していくかが問われております。

2015 年度は、財団設立 30 周年にあたり、「協会のあり方検討委員会」における検討の延長上で、「日中医学協会—日中両国民の未来志向のために—新しい事業展開」について中国国家衛生和計画生育委員会及びその傘下機構との事業協力を探ってまいりました。

中国国家衛生和計画生育委員会国際合作司からは、日中医学協会との間で民間ベースの事業協力について「相互協定」を結びたいとのご提案を受け、「協会のあり方検討委員会」における日中医学医療協力推進協議会（仮称、中国）設置の趣意を活かした成案を検討しているところであります。

2015 年 11 月からは新体制に移行し、会長に日本医学会会長の高久史磨先生が、理事長に順天堂理事長の小川秀興先生がそれぞれ代表理事として就任いたしました。

より強固な公益法人となるべく、時代に即応した事業体制を目指して参りますので、役員はじめ産学官民各方面の皆様には、森岡恭彦前会長、安達勇前理事長同様、さらなるご協力をお願い申し上げます。

1. 当法人の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

2015年度事業計画に従い、当法人の事業、ア研究助成事業、イ学術会議開催事業、ウ医療協力事業、エ広報事業は、ほぼ計画通り実施された。詳細は附属明細書に記した。

重要な成果

- ① 日中医学交流会議——協会設立30周年記念講演会
——主題；日本医療の国際展開と中国における日中医学協会の役割
10月30日(金)学士会館に於いて、内外のご来賓（塩崎恭久厚生労働大臣、笹川陽平日本財団会長、馬曉偉中国国家衛生和計画生育委員会副主任、劉少賓中華人民共和國駐日本国大使館臨時代理大使ほか）多数をお迎えし、第Ⅰ部「日本医療の国際展開」、第Ⅱ部「少子高齢化社会と日中の政策課題」のシンポジウムを開催した。内外から想定を超えるご参会（約250名）をいただいた。詳細は附属明細書に記した。
- ② 日中医学交流フォーラム（第2回）
——内分泌、婦人科、消化器、神経内科・外科の領域別セミナー
5月13日(水)ザ・プリンスさくらタワー東京に於いて、日中の専門家が会し、中華医学会及び天津武田薬品有限公司との共催により開催した。今後、学術会議開催事業としてより充実を図りたい。詳細は附属明細書に記した。
- ③ 日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト（第2期）
日中の専門委員による第1期事業評価を経て、往復国際航空運賃を中国側負担することになり、研修人員の増員を図った（10名→12名）。詳細は附属明細書に記した。

計画の未達

事業計画の医療協力6事業（53項目）の内、49項目を実施し、下記事業（4項目）が計画の未達となった。

- ① 医療協力事業：医療の国際化に係わる事業（経済産業省の事業等）3項目
——交流のあり方等について検討中のため、未実施（第7回理事会了承）
：訪中団派遣1項目
——会員及び任意の医療機関・団体等からの提案もなく実施しなかった。

会計別	予算額 円	決算額 円	達成率 %
公益会計	146,887,800	134,307,803	91.4
法人会計	15,467,200	9,850,565	63.7

(2) 資金調達等の状況

主な事業収益	①日本財団助成金	88,854千円
	②受取寄附金	24,686千円

(3) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

単位:円

区 分	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
一般正味財産経常収益	231,985,701	160,416,750	121,702,658	144,158,368
同評価損益等調整前当期経常増減額	13,406,519	86,040	-2,069,743	-3,713,306
同当期経常増減額	13,406,519	86,040	-2,069,743	-3,713,306
同当期経常外増減額	—	—	—	3,938,259
指定正味財産増減額	—	—	21,202,199	-14,804,098
正味財産期末残高	344,582,407	344,668,447	363,800,903	349,221,758

(4) 主要な事業内容

事 業	主な事業の内容
研究助成	<p>①日中笹川医学奨学金制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4次第37期生, 7名 4月9日研究者認定式、10月1日～3日研究者セミナー開催 ・第4次第38期生, 2016年度来日の29名を選抜(内、4名辞退) <p>②共同研究等助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査・共同研究助成6件 ・若手在留中国人研究者助成2件 <p>③中国人医師・研究者招聘事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト第2期実施等
学術会議開催	<p>①日中医学交流会議——協会財団設立30周年記念シンポジウム(主催)</p> <p>②第2回日中医学交流フォーラム(主催)</p> <p>③2015年度医学生のための漢方医学セミナー(後援)</p>
医療協力	<p>①笹川医学奨学金進修生同学会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国国内研修事業: 中国辺境地域等在住医師の育成 ・ボランティア診療(甘肅省張掖市、吉林省琿春県) ・学術交流会(甘肅省蘭州市) <p>③専門家派遣事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笹川医学奨学金進修生同学会事業への派遣 延べ15名 <p>④医療関連訪日団等招請事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(独)科学技術振興機構「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」(さくらサイエンスプラン)による招請 ・2015年度中国国家級公衆衛生政策計画管理プロジェクト(突発的公衆衛生課題)訪日団招請(JICA研修事業) ・医療関連訪日団招請及び中国人医療関係者招請・研修 海南現代婦嬰医院訪日団等17件

広 報	①機関誌『日中医学』の発行（第30巻1～4号） ②機関紙『NEWS LETTER』の発行（No.36～No.38） ③中国医学・医療機関への機関誌『日中医学』のメール配信
-----	---

(5) 会員に関する事項

種 類	前年度末 名	当年度末 名	増 減 %
名誉会員	7 名	8 名	114 %
個人会員	472 名	410 名	87 %
法人会員	70 社	68 社	97 %
特別会員	3 社	3 社	0 %

※ 会員規程変更により、会費を引き続き3年以上滞納した場合は会員資格取消としたため、2015年度は個人会員が減少した。

(6) 職員に関する事項

職名等	氏 名	就任年月日	担当事務	備 考
事務局長	本田 伸吾	2012年5月1日	協会事業の管理・運営及び事務局事務の管理・運営全般	重要な使用人
事務局次長	岡田 光子	2013年4月1日	事務局事務の管理・運営全般及び事務局長の補佐	重要な使用人
職員	末原 珠生 太田 晶子		事務局事務（事業全般）	
嘱託職員	4 名		事務局事務	

(7) 役員会等に関する事項

① 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2015.05.13	公益第7回理事会 2014年度事業報告の件 2014年度決算報告の件 2015年度収支予算修正案の件 規程等の制改定の件 公益第4回定時評議員会の招集の件 医療協力事業運営委員会改編及び委員会規程改定の件 役員等の改選の件	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決
2015.06.04	公益第8回理事会（臨時） 代表理事（会長、理事長）選定の件 業務執行理事選定の件	全員一致可決 全員一致可決
2015.09.02	公益第9回理事会（みなし決議） 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦の件 副会長の辞任に伴う補欠選任の件	全員一致可決 全員一致可決

2015. 10. 30	公益第 10 回理事会（臨時） 代表理事（会長、理事長）選定の件	全員一致可決
2016. 03. 09	公益第 11 回理事会 2016 年度事業計画(案)の件 2016 年度収支予算(案)の件 就業規則の変更の件 特定個人情報取扱規程制定の件 基本財産の指定について	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 理事長一任了承

② 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2015. 06. 04	公益第 4 回定時評議員会 <u>決議事項</u> 定款の変更の件 2014 年度計算書類（決算報告）の承認の件 評議員の補欠選任の件 理事の選任の件 監事の補欠選任の件 <u>報告事項</u> 2014 年度事業報告の内容報告の件 2015 年度事業計画、収支予算の内容報告の件 理事の職務執行状況の報告の件	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決
2015. 10. 13	公益第 5 回評議員会（みなし決議） 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の選任の件	全員一致可決

(8) 許可、認可、承認等に関する事項

申請年月日	申請事項	認定年月日	備考
該当事項なし			

(9) 対処すべき課題

- 1 日本財団の助成事業「日中笹川医学協力プロジェクト——日中笹川医学奨学金制度」に関し、本制度第 4 次までの経過と現状、日本財団の事業評価（第 4 次制度）を踏まえて、第 5 次制度のあり方が問われている。
- 2 医療の国際化に係わる事業（経済産業省の事業等）について、日本式医療の中国における拠点化に向けた事業推進が求められている。
- 3 中国国家衛生・計画生育委員会より相互協定（同委員会国際合作司と日中医学協会）の締結が提案されている。

対処方針

- 1 日中笹川医学協力プロジェクト第5次制度のあり方検討会（将来検討委員会）を設置し、検討の方向性は、「日中の先進課題についての『共同研究』とし、その成果を英文で権威のある国際的ジャーナルに論文発表して業績に残すこと及び研究の成果を日本における博士号の取得につなげる方略を考えること」で進める。
- 2 経済産業省（ヘルスケア産業課）の「医療技術・サービス拠点化促進事業（海外拠点化促進・実証調査事業）」への応募準備として、2016年度は日本式医療の拠点化に向けた事業性調査を行う。
- 3 日中医学協会のあり方検討委員会報告「日中医学協会－日中両国民の未来志向のために－新しい事業展開」の実現に向けて、理事長所管として協議を進める。

2. 役員等に関する事項

(1) 理事

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
会長	高久 史麿	2017.03.31	非常勤	48千円	日本医学会会長
理事長	小川 秀興	〃	〃	48千円	順天堂理事長
副会長・理事	安達 勇	〃	〃	48千円	
業務執行理事	新井 一	〃	〃	24千円	
	江藤 一洋	〃	〃	48千円	
	林 謙治	〃	〃	36千円	
	日比 紀文	〃	〃	48千円	
理事	跡見 裕	〃	〃	36千円	
	池谷 田鶴子	〃	〃	48千円	
	尾身 茂	〃	〃	36千円	地域医療機能推進機構 理事長
	木村 政之	〃	〃	36千円	日本製薬団体連合会理事長
	近藤 達也	〃	〃	—	医薬品医療機器総合機構 理事長
	庄田 隆	〃	〃	24千円	
	手代木 功	〃	〃	36千円	塩野義製薬株式会社 代表取締役社長
	林崎 良英	〃	〃	24千円	
	平岡 眞寛	〃	〃	12千円	
	堀田 知光	〃	〃	24千円	国立がん研究センター理事長
	松原 謙二	〃	〃	—	
	三宅 養三	〃	〃	36千円	愛知医科大学理事長
武藤 徹一郎	〃	〃	24千円		

退任理事	大柳 治正	2015.06.04	〃	12千円	
	酒谷 薫	〃	〃	12千円	
	篠崎 英夫	〃	〃	12千円	
	田平 武	〃	〃	12千円	
	橋本 敬太郎	〃	〃	12千円	
	星合 昊	〃	〃	12千円	
	森山 紀之	〃	〃	12千円	
	森岡 恭彦	2015.10.31	〃	36千円	

注) 報酬等は理事会・評議員会等の出席手当

(2) 監事

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
監事	金井 淨	2017.03.31	非常勤	36千円	
	星合 昊	〃	〃	24千円	
	小野 喜志雄	2019.03.31	〃	12千円	

退任監事	杉本 恒明	2015.06.04	〃	12千円	
------	-------	------------	---	------	--

注) 報酬等は理事会・評議員会等の出席手当

(3) 評議員

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
評議員	池田 裕	2017.03.31	非常勤	12千円	
	石井 正三	〃	〃	—	
	石館 光三	〃	〃	12千円	
	一戸 達也	〃	〃	—	
	稲葉 裕	〃	〃	12千円	
	緒方 剛	〃	〃	—	
	金井 隆典	〃	〃	—	
	洪 愛子	〃	〃	12千円	
	小林 慶太	〃	〃	—	
	杉山 清	〃	〃	12千円	
	曾根 智史	〃	〃	12千円	
	高橋 和久	〃	〃	12千円	
	高松 研	〃	〃	12千円	
	寺本 明	〃	〃	12千円	
	中尾 浩治	〃	〃	—	テルモ株式会社 代表取締役会長
	根本 則道	〃	〃	12千円	
範 江林	〃	〃	12千円		

	藤原 英憲	〃	〃	—	
	松本 謙一	〃	〃	—	サクラグローバルホールディングス株式会社 代表取締役会長
	山口 建	〃	〃	12 千円	静岡県立静岡がんセンター 総長
	山田 陽城	〃	〃	12 千円	
退任評議員	庄田 隆	2015.06.04	〃	12 千円	
	黒川 顕	2015.10.13	〃	—	
	中島 信也	〃	〃	12 千円	

注) 報酬等は理事会・評議員会等の出席手当

(4) 役員等の報酬等

区 分	人 数	報酬等の総額	備 考
理事	20 名	756 千円	退任理事を含む
監事	3 名	84 千円	退任監事を含む
評議員	21 名	180 千円	退任評議員を含む

3. 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議の内容の概要

内部統制システムの基本方針、役員等職務権限規程、業務執行理事の分担執行に係る業務分担基準、リスク管理規程、倫理規程、公益通報者保護に関する規程、特定個人情報取扱規程等を制定した。また、業務執行理事の分担執行に係る業務分担基準に関連して、委員会規程及び各委員会細則を改定した。

2015 年度事業報告書
公益財団法人日中医学協会
TEL 03-5829-9123
FAX 03-3866-9080
発行日 2016 年 5 月 26 日
発行人 小川 秀興

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-4-3 住泉KMビル 6 階